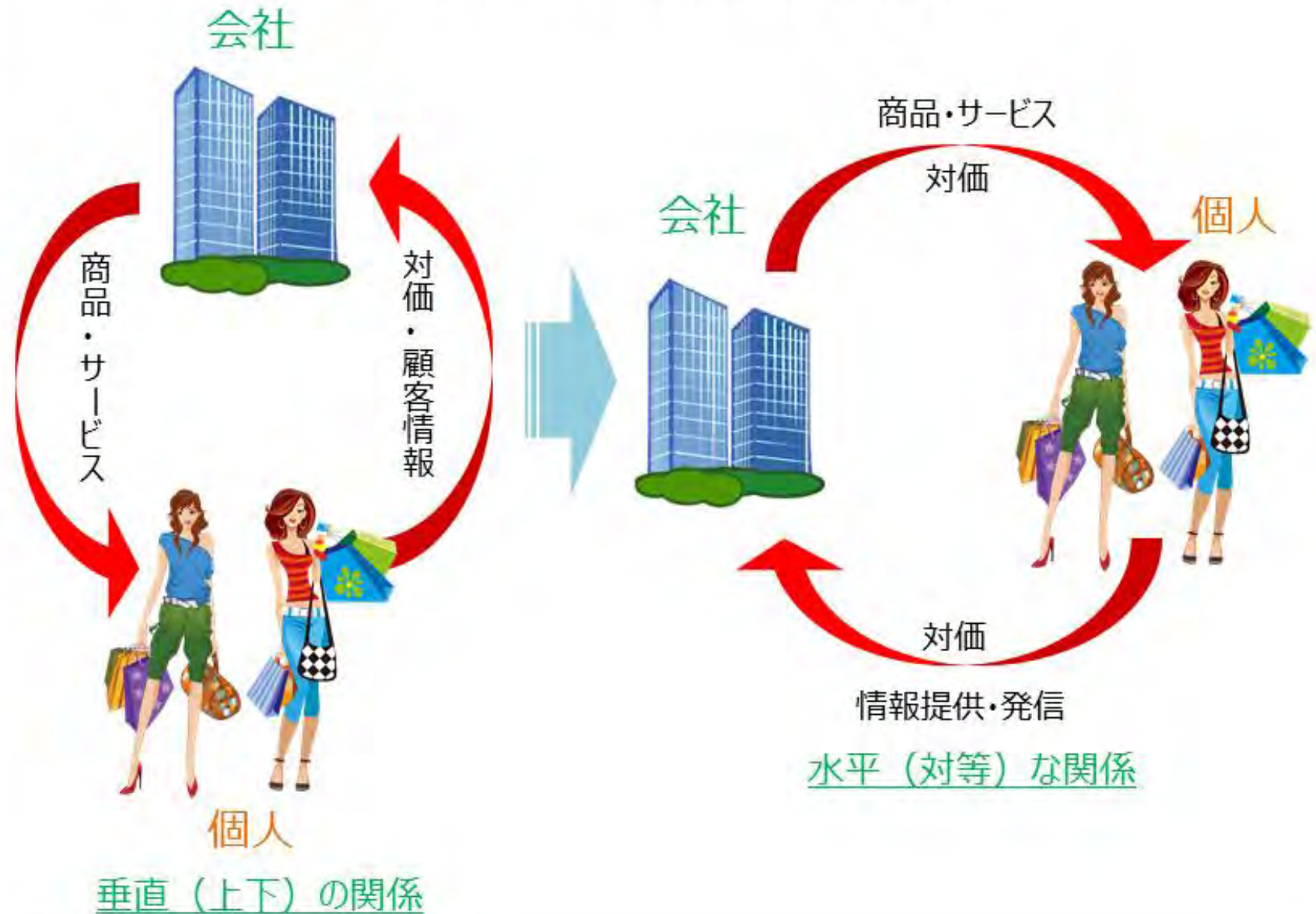


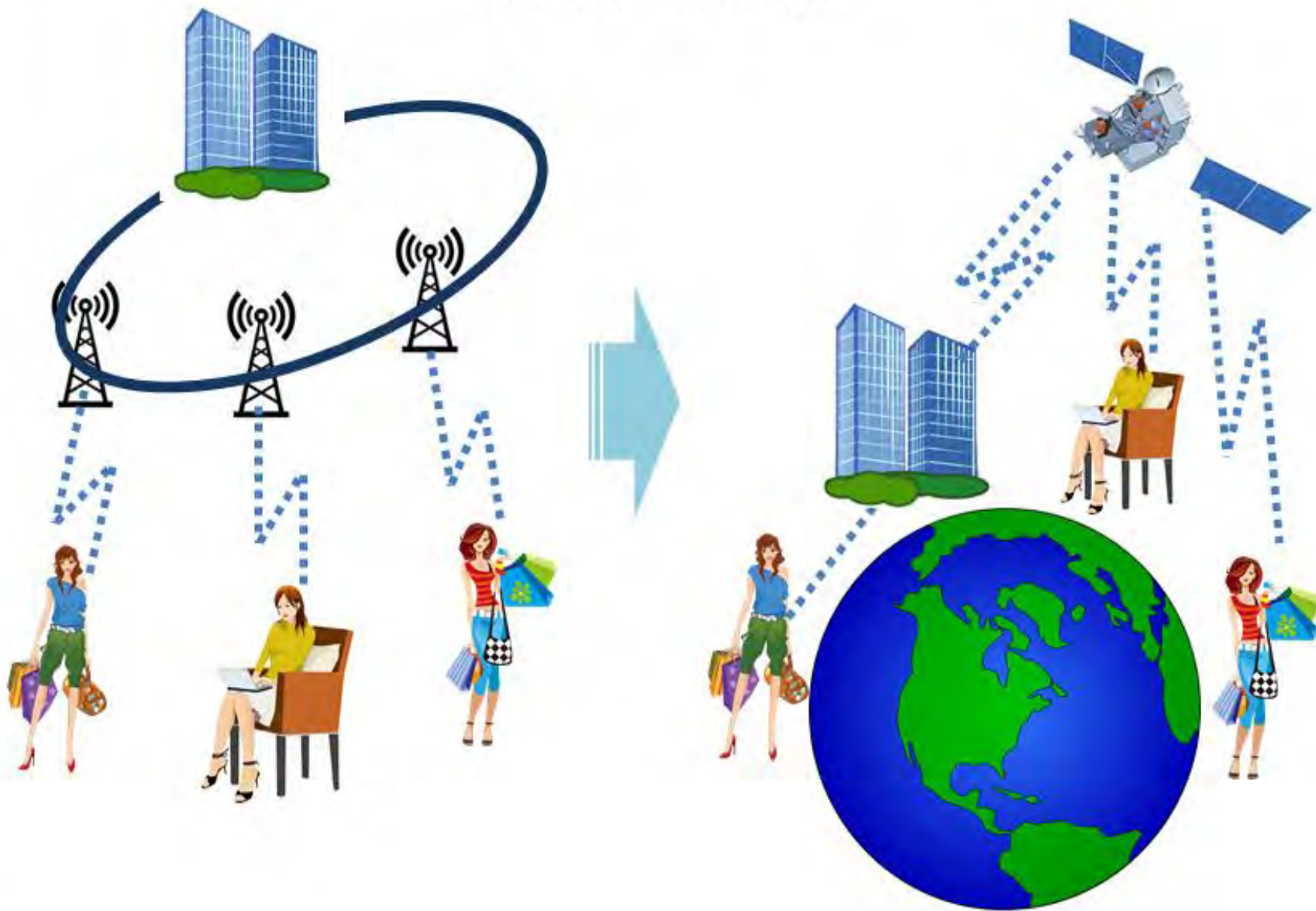
## 4. 世の中の変化について

- IoTやインダストリー4.0、AI、ビッグデータ等の**急速な発展**。
- 生産者とユーザーのインターフェイス大幅に向上。
- 生産活動、流通、生活スタイルのあり方大変革。
- 企業や公共インフラ、個人のあり方の大きな変化。
- 必要な**技術、インフラの中身担う主体が変化**。
- 企業活動の**役割は社会と共働**で。
- 研究開発の担い手である中小企業に**具体的な発注と需要の形成**。

## 5. 【個人と会社の関係の変化例】



## 6. 【インフラの変化例】



## 7. 今後の中小ものづくり企業等の施策の方向性

- 昨今のIT技術の進展やTPPの合意を見るまでも無く、今後は「ヒト、モノ、カネ、情報」はグローバルに往来し、競争が激化していく。
- 今後当面取り組むべきは、ビックデータ、AI(人工知能)やIoT等の、社会を変革するツールを利活用する未来に向かって官民でビジョンを共有するとともに、民間活動を支える基盤となるシステム、体制を整備(下図)。
- その際、イノベーションの担い手となる中堅・中小企業を含む我が国の企業活動の抜本的な強化を図る取組を並行して進めることが必要(次頁)。

### 官民でのビジョン共有

ビックデータ、AI、IoT等の新しい潮流に対応した、日本経済・社会の新たなビジョンをオールジャパンで策定。

### 産官学の推進体制整備

ドイツは首相が先頭に立って未来像を説き、民間がその基盤を支える体制。我が国も省庁の垣根を越え、産官学の体制を整え、加速的な検討を進める。

### 基盤を支える社会システム

サイバーセキュリティ等の抜本強化により、安全・安心なIT社会を築く基盤を構築。リソースの少ない中小・中堅へはガイドライン策定などでサポート。

### 新たな事業に取り組む民間への障害を除去

IoT推進ラボを中心に、先導的なモデル事業、スマート工場実証などにより、課題や規制をあぶり出し対応・改善策等に取り組む。

**一体的に推進することで、我が国のIoT社会に向けた基礎を作る**



## 8. イノベーションの担い手となる主体の強化

○中小・中堅を含む我が国の民間企業が主体となってイノベーションを巻き起こす。

○そのためには、

- ①各国がしのぎを削る先端的なR&Dにおいて、官民一体となって取り組む。
- ②中堅・中小を中心とした創業・ベンチャー創出などの強力な後押し。
- ③新たな事業へのチャレンジ、新たな市場の獲得、生産性向上を強化する施策展開。

### 先端的なR&Dの強化等

市場ニーズに柔軟に対応する  
スマート工場実証、EDIによる取引適正化、  
次世代ロボット開発等を進める。

### 創業・ベンチャー支援

創業支援、ベンチャー支援、資金調達支援  
(ベンチャーキャピタル)、目利き人材育成 等

### 新たなチャレンジ、市場獲得

TPP妥結を契機とした海外市場獲得、  
IoT等投資促進で革新的サービスの創出や  
新市場開拓に取り組む。

### 生産性向上

既存の経営資源の高度利用(人材への投資や  
ベストプラクティスの共有等のマネジメント向上、  
業務標準化など)による生産性向上を図る。

**民間の活力を最大限活かし、国の支援を上記に重点化**